

2016年度 後期期		リフレクションペーパー						
学科名	建築デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科							
科目名	情報処理Ⅲ							
科目区分	リテラシー科目	単位数	3	開講時期	2年次後期			
必修・選択の別	選択科目							
担当者	染矢 博徳							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータなどの情報機器の仕組みを理解し、身近な情報機器を活用できる。</li> <li>・システム開発やセキュリティの知識を身につけることができる。</li> <li>・企業活動の情報化に必要な知識を得ることができる。</li> <li>・ITパスポート試験の合格レベルのスキルを身につけることができる。</li> </ul>							
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要、成績評価法の説明、企業と法務について学習する。</p> <p>第2回：企業と法務について学習する。</p> <p>第3回：経営戦略について学習する。</p> <p>第4回：システム戦略について学習する。</p> <p>第5回：開発技術について学習する。</p> <p>第6回：プロジェクトマネジメントについて学習する。</p> <p>第7回：サービスマネジメントについて学習する。</p> <p>第8回：基礎理論について学習する。</p> <p>第9回：コンピュータシステムについて学習する。</p> <p>第10回：コンピュータシステムについて学習する。</p> <p>第11回：技術要素について学習する。</p> <p>第12回：技術要素について学習する。</p> <p>第13回：技術要素について学習する。</p> <p>第14回：まとめ</p> <p>第15回：定期試験を実施する”</p>							
成績評価基準	定期試験	100%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	集中講義が40回あり、その出席率が例年に比べて悪かった。そのため十分な演習が行えず合格者は前年度と同数の13名となった。スケジュール調整を入念に行い学生が出席できるように調整を行い出席率を高め合格者数を増やしたい。良かった点は、例年経営ビジネス学科の合格者が少なかったが、今年度は合格者の半数以上が経営ビジネス学科の学生だった。							
反省点	例年は受講者50名前後に選抜していた。今年度は受講希望者全員に受講してもらった。単位数も多いため多くの履修登録があった。単位数だけで講義内用を十分理解せず受講を希望した学生も多く、国家試験に対する意欲がとて低かったと感じられる。これを改善するため履修登録を行う前に情報処理Ⅰや情報処理Ⅱと連携を密にとり情報処理Ⅲの講義内用のおよび講義目的を事前に十分開示をおこない内容を理解した上で履修登録を行ってもらうようにする。							
来年度の計画	通常の講義はテキストの内容を解説し、課外講義では演習問題を解くようにした。ITパスポートを早期受験できるようにし、不合格者が再度受験できる体制にするため、通常講義に加え課外の講義でもテキストの解説を行い、テキストの履修を早く終わらせ、受験可能な状態を作りたい。また、							
授業評価アンケートに対するコメント	例年に比べて出席状況がとて悪かった。その影響で授業の満足度が全体の平均と同じくらいになった。出席率と合格率を高める施策を実施し、授業満足度を高めたい。							
履修登録者数	79名	定期試験 受験者数	64名	合格者数	43名	合格率	67%	